

# 住友不動産、新興向け交流イベント 入居企業や取引先と

2023/01/23 02:00 日本経済新聞電子版 574文字

住友不動産はスタートアップ支援に本格参入する。東京都港区にある自社ビル内で国内の様々なスタートアップが講演するイベントを定期開催し、住友不のビルに入居する1500社超の企業や取引先との交流を進める。スタートアップの事業拡大を後押ししつつ、保有ビルへの新規入居やオフィス拡張につなげる。

1月下旬から住友不動産虎ノ門タワー（東京・港）で「虎ノ門サミット」を開催する。1回目は「不動産・建設」がテーマで、建設業向け人材仲介アプリを手掛ける企業など約10社のスタートアップが登壇する。住友不の取引先や入居企業、大手ゼネコンやIT（情報技術）関連、ベンチャーキャピタルなど130社以上が参加する予定だ。



家具を備えた「セットアップオフィス」も設ける（住友不動産虎ノ門タワー）

今後は医療や教育、ゲームなど様々な分野を対象に、同様のイベントを毎月開く考え。住友不は交流の場所を提供し、企業との接点づくりを後押しする。スタートアップ企業の利用を想定し、住友不動産虎ノ門タワーにオフィス家具を備えた「セットアップオフィス」も設ける。

住友不は都内を中心に230棟超の賃貸オフィスビルを運営し、2023年以降も東京・三田や西新宿などにオフィスビルを建設する。ただ、新型コロナウイルスの影響で働き方が多様化し、コロナ前のオフィス需要に戻ることは期待しづらい。保有資産やネットワークを生かして企業を育成し、既存事業の多角化にもつなげたい考えだ。

本サービスで提供される記事、写真、図表、見出しその他の情報（以下「情報」）の著作権その他の知的財産権は、その情報提供者に帰属します。

本サービスで提供される情報の無断転載を禁止します。

本サービスは、方法の如何、有償無償を問わず、契約者以外の第三者に利用させることはできません。

Copyrights © 日本経済新聞社 Nikkei Inc. All Rights Reserved.

許諾番号30093632 日本経済新聞社が記事利用を許諾しています。